



グローバルゼーションという潮流への参加

クロダイインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

グローバルゼーションへの参加は、世界におけるメジャーや企業と同じ基準における参加において、現実を求める必要があると考える。これらは、グローバル基準への参加が未来という現実を可能とできると考えるものである。

これら、企業への要求は時代性ととも、企業の未来という現実への参加の絶対的な必要性なのである。

これらは競争原理と自由経済システムは、向上と進歩を与えるため、これら同一基準は企業における必達の必要性なのである。

これらは企業の立脚が、企業経営における独立性を必要とし、自立した経営は、その可能性を現実化できることにおいて、企業は独自経営と行動において自己現実を有することができるのである。

これらは企業が自己の現実を求め、行うことにおいて世界基準における自己構築を実現できることを意味する。

資本金や生産性における、これら先端性への到達は、真実においてグローバル化する市場において、企業の安定性と健全性を与えるものなのである。

これらは日本企業においては自己の挑戦であり、時代要求とともに、企業の一つの完成を実現できるものであると判断するものである。

これら対等な企業環境は、グローバル市場における企業のプレゼンスを可能とできるのである。

これらはグローバルという現実を受け入れ、企業の改善や向上において、優れた現実を創造し、グローバル市場へ参加することは、世界という舞台において、その理解を求める事は可能である。